

三重大学眼科における神経眼科外来開設について

平素より三重大学眼科に患者様をご紹介くださり、本当にありがとうございます。

この度、令和2年9月より三重大学病院眼科外来にて、眼科三宅病院で神経眼科外来を担当している前久保知行先生をお招きし、月に1回 神経眼科外来を開設することになりました。確定診断目的や治療方針など、どのような神経眼科領域の患者様の紹介も歓迎いたします。どうかよろしく申し上げます。

外来日: 毎月、第2木曜日の午前10時～12時（4人から6人程度まで）

外来開始日: 9月8日（木曜日）より

外来担当医: 前久保 知行（眼科三宅病院 医長）

若松 泰子（三重大学眼科 助教）

紹介の方法: 可能であれば、三重大学病院の地域連携を通じ、事前に予約していただき、診療情報提供書をFAXして頂けると幸いです（事前に患者情報をチェックできますので）。もちろん、予約なしでの緊急受診なども対応いたします。

【前久保知行先生からの自己紹介】

この度三重大学医学部附属病院にて神経眼科外来を担当させていただくこととなりました前久保知行（まえくぼ ともゆき）と申します。2004年宮崎大学卒業、市立四日市病院初期研修後に神経眼科を専攻希望し、宮崎大学中馬秀樹先生のご指導の下で2013年まで勤務いたしました。その後は現在まで眼科三宅病院（名古屋市）で診療をしております。研究領域は視神経



疾患、特に虚血性視神経症を中心とした視神経乳頭血流の研究を行っておりますが、臨床は神経眼科領域を幅広く対応できるよう研鑽を積んでおります。今回近藤教授、若松泰子先生とのご縁で、第2週木曜日に診療させていただくこととなり大変光栄に感じております。先生方の診療に少しでもお役に立てるよう頑張ります。何卒宜しくお願いいたします。

【ご紹介の対象となる疾患例】

視神経炎、虚血性視神経症、遺伝性視神経症、その他の視神経症、麻痺性斜視、甲状腺眼症、重症筋無力症、眼瞼痙攣、片側顔面痙攣、瞳孔異常、眼窩炎症性疾患、その他